1016櫛引庁舎

櫛引芸術文化協会　グループトーク　まとめ

〇伝統芸能の保存会に若い人が入ると活性化し観光にもつながるが、練習の調整や経費のねん出が大変だ。

　・東荒屋の天狗獅子舞は２０代～４０代

（仕事があるので、練習調整が大変。テープにあわせて練習することもある）

・若い人に参加してもらうため、飲食を出したいが経費のねん出が大変だ

・下山添は保存会を統合して全戸が会員になって（支えることにした）

・若い人を集めるのは、友達どうしの誘い合いが大きい

・若い人が入ると活動が活性化して観光にもつながるかもしれない

〇地域活動は高齢化が課題だが、様々な機会で人が会うことが交流につながる

　・地域活動は高齢かつ特定の人しか出てこない

　・ホームステイや相互交流などのきっかけがあると活動が再開する

〇（趣味の活動で）世代や内容にあわせて無理なく活動している団体もある

　・月１～３回程度のペース（カラオケ、フォークダンス、切り絵…）

　・世代ごとの内容　（フォークダンス：６０代以上　　ヒップホップダンス：若者）

　　　　　　　　　　（カラオケ：曲目で分かれる？）

〇子供向け事業は成功事例もあり次の世代を育てるために重要だ

　・芸文協の文化クラブ（体験して関心を持つ子もいる。成果発表の場も準備）

　・文化や伝統芸能の継承（学童保育や学校の授業にも出向きたい）

〇地域の施設はいつでも安く利用できるがタクトは反対で敷居が高い。利用をＰＲするイベントをやったらどうか

　・地区の人が登録していると、地区コミセンなどは無料で利用できるのでありがたい。

　・生涯学習センターや王祇会館は使う人が少ない（いつでも利用できる）

　　（普段の練習は上記の施設を利用してもらって）

　・タクトは利用料金の高さから敷居が高い

（料金体系も複雑でいくらかかるのか分かりにくく、不安で使えない）

（利用ＰＲイベントの実施→例：ピアノリレーコンサート…）------------------------------